

# 桐生繊維業界の実態

平成6年1月～12月

桐生市繊維振興協会

## 桐生市繊維業界の概況

1. 調査対象団体数	20団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2. 産地収入	（昨年比較）
(1) 生産高	546億9,768万円（97%）
(2) 加工収入高	117億8,229万円（88%）
(3) 販売高	180億5,441万円（94%）
合計	845億3,438万円（95%）
3. 総組合員数	1,001事務所
4. 総従業員数（家族従業員含む）	6,501人
5. 一事業所当り従業員数	6.5人
6. 一事業所当り生産販売加工高	8,445万円
7. その他参考	

54年産地収入	1,078億 1,166万円（100）
55年	1,170億 6,380万円（109）
56年	1,110億 8,757万円（103）
57年	1,083億 3,093万円（101）
58年	1,023億 634万円（95）
59年	976億 1,960万円（91）
60年	917億 1,760万円（85）
61年	853億 4,182万円（79）
62年	804億 5,848万円（75）
63年	783億 8,548万円（73）
元年	841億 7,076万円（78）
2年	931億 1,687万円（86）
3年	908億 7,740万円（84）
4年	1,001億 1,232万円（93）
5年	893億 2,611万円（83）

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組 合 員 数 事 業 所	従 業 員 数				計	従 業 員 平 均 年 齢
			従 業 員		家 族 従 業 員			
			男 人	女 人	男 人	女 人		
桐生織物(協)	広幅協議会	356	240	250	345	525	1,360	53
	内地協議会	176	392	624	190	180	1,386	52
桐生織物商業(協)		10	27	20	0	0	47	43
桐生織物産地元売(協)		14	18	6	0	6	30	48
両毛輸出織物整染(工)		27	425	208	40	25	698	50
桐生染色(協)		34	207	34	15	20	276	48
桐生繊維製品(協)		64	284	827	25	37	1,173	37
桐生糸商組合		17	38	21	18	12	89	44
東日本編レース(工)		26	75	43	31	27	176	48
桐生撚糸(工)		33	6	35	36	39	116	57
両毛輸出スカーフ組合		8	4	5	8	8	25	-
桐生織物整経(協)		56	1	9	68	61	139	59
桐生意匠(協)		30	9	5	1	10	25	45
桐生紋紙(協)		21	16	2	28	20	66	-
東毛ジャガード刺繍(協)		11	21	33	14	21	89	41
桐生刺繍商工業(協)		77	163	261	118	109	651	44
桐生金銀糸(協)		13	31	10	0	9	50	49
桐生織物買継商友会		21	4	4	24	18	50	45
群馬県綿スフ織物(工)		88	132	149	25	40	346	52
(協)シルク・ルネッサンス桐生		15	0	0	0	0	0	-
桐生テキスタイル商業グループ		7	25	30	0	0	55	39
計		1,001	1,986	2,427	961	1,127	6,501	-

- 注 (1) 桐生織物(協)の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物(工)の88事業所を含む。  
(2) (協)シルク・ルネッサンス桐生は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。  
(3) 平成4年11月17日桐生繊維製品(協)と桐生婦人子供服製造(協)が合併。

## 2. 生産,加工高及び受注(出荷)先区分(工業部門)

単位 万円

所 属 団 体		生 産 高	加 工 高	計	昨 年 比 較	取 引 先 区 分	
						県 内	県 外
桐 生 織 物 (協)	広幅協議会	1,023,239		1,023,239	% 95	% 0	% 100
	内地協議会	671,208		671,208	93	2	98
両毛輸出織物整染(工)			469,170	469,170	82	45	55
桐 生 染 色 (協)			179,648	179,648	99	58	42
桐 生 織 維 製 品 (協)		2,143,428	93,150	2,236,578	95	0	100
東日本編レース(工)		514,000		514,000	96	54	46
桐 生 撚 糸 (工)			22,661	22,661	96	90	10
桐 生 織 物 整 経 (協)			28,124	28,124	99	90	10
桐 生 意 匠 (協)		26,913		26,913	98	51	49
桐 生 紋 紙 (協)		29,150		29,150	92	80	20
東毛ジャガード刺繍(協)		72,657		72,657	101	4	96
桐 生 刺 繍 商 工 業 (協)		315,621	385,476	701,097	90	4	96
両毛輸出スカーフ組合		12,960		12,960	60	0	100
群馬県綿スフ織物(工)		340,592		340,592	133	0	100
桐生テキスタイル商業グループ		320,000		320,000	100	100	0
計		5,469,768	1,178,229	6,647,997	95	16	84

## 3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所 属 団 体	販 売 高	昨 年 比	桐生市内	県 内	県 外
桐生織物産地元売(協)	223,041	60	0	0	100
桐生織物商業(協)	217,000	79	15	0	85
桐生糸商組合	1,020,000	110	64	6	30
桐生金銀糸(協)	135,000	113	80	10	10
桐生織物買継商友会	210,400	90	0	0	100
計	1,805,441	94	44	4	52

## 4. 内需向,輸出向区分

単位 万円

所 属 団 体	内 需 向		輸 出 向		計
	金 額	割 合	金 額	割 合	
桐生織物(協)広幅協議会	816,058	80	207,181	20	1,023,239
桐生織物商業(協)	125,000	58	92,000	42	217,000
両毛輸出織物整染(工)	401,470	86	67,700	14	469,170
桐生染色(協)	134,735	75	44,913	25	179,648
桐生繊維製品(協)	2,236,578	100	0	0	2,236,578
桐生刺繍商工業(協)	700,133	99	964	1	701,097
桐生金銀糸(協)	135,000	100	0	0	135,000
両毛輸出スカーフ組合	389	3	12,571	97	12,960
桐生織物整経(協)	24,296	86	3,828	14	28,124
桐生意匠(協)	24,491	91	2,422	9	26,913
桐生紋紙(協)	25,652	88	3,498	12	29,150
群馬県綿スフ織物(工)	340,592	100	0	0	340,592
計	4,964,394	92	435,077	8	5,399,471

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合	割 合	割 合	割 合	割 合
桐生織物協 (広幅協議会)	合織織物	人絹織物	絹織物	アセテート 織物	そ の 他
	38	32	10	16	4
桐生織物協 (内地協議会)	帯 地	広幅織物	服飾工芸	着 尺	
	73	11	10	6	
桐生織物商業協	服 地	二次製品	そ の 他		
	70	18	12		
桐生織物産地元売協	帯 地	着 尺	二次製品	服飾工芸	そ の 他
	72	12	7	3	6
両毛輸出織物整染(㊦)	合 織	ニ ッ ト	人 絹	絹	
	38	33	27	2	
桐 生 染 色 協	合 織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ ウール等	絹	
	49	30	11	10	
桐生織維製品協	ブラウス	ニットシャ ツ	ス ー ツ	ジャケット	そ の 他
	70	11	5	2	12
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	レーヨン	綿・スフ	絹	
	55	29	9	7	
東日本編レース(㊦)	カーテン レ ー ス	衣料レース	資 材		
	70	20	10		
桐 生 撚 糸 (㊦)	合織撚糸	人絹撚糸	絹 撚 糸	金 銀 糸	
	60	35	4	1	

団体名	品 目				
	割 合	割 合	割 合	割 合	割 合
両毛輸出スカーフ組合	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協	整 経				
	100				
桐 生 意 匠 協	帯	インテリア	洋 反	そ の 他	
	26	21	17	36	
桐 生 紋 紙 協	紋 紙	エンドレス			
	38	62			
東毛ジャガード刺繍協	ワッペン	T シャツ	ワンポイント 刺 繡	トレーナー	そ の 他
	44	25	15	5	11
桐生刺繍商工業協	婚礼関係	ブラウス 加 工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑 貨
	37	22	15	12	14
桐 生 金 銀 糸 協	金 銀 糸	関連製品			
	90	10			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	広巾・服地 そ の 他	
	83	9	3	5	
群馬県綿スフ織物(公)	衛生材料	婦人服地等			
	72	28			
桐生テキスタイル 商業グループ	婦人服地				
	100				

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物協 (内地協議会)	広巾織機	136	桐生織物 整経協	整経機	65
	並巾 "	1,218		ワインダー	3,786
	小巾 "	230		計	3,851
	レピア "	214	桐生意匠協	拡大機	26
	計	1,798		コピー機	18
桐生織物協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66		コンピュータ	27
	" レピア	728		パンチング	10
	自動及び普通織機	2,148	計	81	
	計	2,942	桐生紋紙協	ピアノマシン	60
両毛輸出織物 整染(㊦)	精錬漂白機	86		裁断機	25
	乾燥機	120		編機	38
	染色機	147		ワンパンチ	27
	仕上機	70		その他	69
	計	423		計	219
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	132	桐生刺繍 商工業協	横振りマシン	784
	"(高圧)"	42		ジャガードマシン	1,680
	"(汎)"	45		計	2,464
	チーズ及びチーク	69	群馬県綿スフ 織物(㊦)	広巾普通織機	100
	計	288		超自動レピア	53
桐生織維 製品協	縫製マシン	1,513	計	153	
	プレス	77			
	裁断機	82			
	計	1,672			
東日本編レース(㊦)	ラッセル機	162			
東毛ジャガード 刺繍(㊦)	ジャガードマシン	64			
桐生撚糸(㊦)	イタリー式撚糸機	97			
	合撚式 "	60			
	アップワインダー	6			
	長谷式	6			
	計	169			



7. 最近の推移 (5年10月~6年2月)

所属団体		受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐生織物(協)	広幅協議会		○		100		○		100
	内地協議会		○		100			○	98
桐生織物商業(協)				○	80			○	94
桐生織物産地元売(協)				○	80		○		100
両毛輸出織物整染(工)				○	83			○	95
桐生染色(協)				○	98		○		100
桐生繊維製品(協)				○	95			○	92
桐生糸商組合				○	90			○	90
東日本編レース(工)			○		100			○	96
桐生撚糸(工)				○	95			○	90
両毛輸出スカーフ組合				○	60			○	80
桐生織物整経(協)				○	95			○	95
桐生意匠(協)				○	98		○		100
桐生紋紙(協)				○	92		○		100
東毛ジャガード刺繍(協)		○			105			○	95
桐生刺繍商工業(協)				○	70			○	70
桐生金銀糸(協)			○		100	○			110
桐生織物買継商友会				○	85			○	90
群馬県綿スフ織物(工)			○		100		○		100
桐生テキスタイル 商業グループ				○	80			○	95
計		1	5	14	-	1	6	13	-

## 1. 桐生織物協同組合

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

長引く景気の低迷と急激な円高で輸出はもとより服地部門、和装部門とも低迷している。服地部門については、後半幾分持ちなおし傾向にあったが、輸出部門は円高影響で非常に低迷し、和装部門も購買意欲減退や価格破かいの状況を呈しており低迷している。

### ★ 状況、事業概要

平成6年の織物業界は過去の経済変動の中で最も厳しい状況下にある。国内外とも経済活動が低迷しており、加えて国際為替相場も急激な円高で輸出織物壊滅的な打撃を受け、内需関係では景気の回復の遅れから服地関係、インテリア関係、和装関係とも低調に推移した。

全体としては前年対比金額ベースで、94.4%と6%のダウンとなった。部門別には、輸出織物関係84.5%、内需広巾関係98.2%、和装織物関係93.2%と低調に推移した。

### ★ 今後の課題

この不況乗り切るには、一業種だけの問題ではなく、産地全体として対応すべく行動をおこすことが必要である。

## 2. 桐生織物商業協同組合

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

輸出向は中近東地区（特にサウジアラビア）が中心であるが、年々国内向と近似の商品が出るようになった。

中近東と言っても、新柄又は新品質のもの以外は売れなくなった。

### ★ 状況、事業概要

2月に大坂でテキスタイル展、6月末～7月中旬にかけて中近東で見本市を開催（織協と共催にて）したがもう一つ盛り上りに欠けたと思う。年間を通じ定着した円高の影響を直接受け受注状況は非常に悪かった。

唯比較的好調だった国内向アセ/レーヨン服地と経糸が共通なので緯糸の変化で多くの輸出向見本が出来たのは幸いだったが、何としても環境が悪過ぎた一年であった。

### ★ 今後の課題

桐生の輸出織物（編地も含めて）は円高に依る構造的な問題をかかえて居り、今後輸出のみで経営を支えて行くのは益々困難になったので各店共内地織物の扱いを増やす等、企業努力を重ねている。幸い用途により共通の商品で展開出来る様な環境になって居り（輸出、内地共）その点を考慮しつつ販路の開拓を行っている。

なお、業界として生き残る為には、機能及びデザイン、品質の面で国際的で且画期的な新商品の開発以外にないと信ずる。

## 3. 桐生織物産地元売協同組合

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

長引く不況に消費者の購買意欲は一層の減退を深めている。特に生活必需品でない和装呉服においては、価格の問題だけでなく、荷動きが益々減少し、売上高を著しく低下させている状態です。

★ 状況、事業概要

売上高の減少に対応する決定的な打開策もなく景気低迷のままの1年に終る。

集産地問屋の倒産等もみられ産地への影響も深刻になってきました。

★ 今後の課題

繊維業界に限らず日本の経済全体が大きな変革期に入ってきていると思われます。特に流通においては日本型の流れから淘汰される部分が明確になってくる様に思われます。流通業界として付加価値をどこに見い出すかが課題と思われます。

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

商品情報の周知から、商品に対する満足度の向上と「高いものは買わない。安いものでも値段のないものは買わない。」が顕在化し、消費者優位に変革している。

★ 状況、事業概要

加工数量は、内需、輸出共減少に落ち込み、加工金額も加工単価が維持することが出来ず、収益の悪化が一段と顕著になってきております。特に急激な円高は輸出関連企業の円高抵抗格差が鮮明になる不安が生じてくる。

★ 今後の課題

繊維産業構造改善臨時措置法の改正延長、本年7月から製造物責任法の施行等、繊維業界にとっては、大きな節目に当たる年であります。特に製造物責任法施行にあたり、安全性への配慮と消費者保護の立場から、商品の品質、管理等については今まで以上に、細心の努力を傾注しなければならない。

5. 桐生整色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

一昨年来、国内景気が低迷していたところへ今年一月阪神大震災が発生し、消費者の購買意欲が低下しているため最近染色加工受注量は、減少傾向である。

★ 状況、事業概要

平成6年中は、中国、東南アジア等からの繊維製品が大量に輸入され繊維業界ではこれらのものと競合しない製品作りに努めているが、厳しい状況が続き、小ロットのものが多く、輸出関連も円高基調で数量的に少ない。

★ 今後の課題

今後の課題として、

1. 後継者問題、従業員の高齢化、人材の確保
2. 排出処理、煤煙、臭気等の公害対策
3. 染色品の小ロットに対する染色コストの対応及び省力化に向け一層の技術的対策等が挙げられ、これらは個々の企業の問題と業界全体としての課題があり、日常の業務を通じて問題解決に努めているところである。

6. 桐生繊維製品協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

1. 不況という言葉の中で買物は最小限にしている。
2. 輸入商品が多くなり、品質も良く、非常に安価の商品に市場を奪われている。

★ 状況、事業概要

深刻は不況がつづき、今売れるものを速く作る。そして、ロットは小さくコストを下げての受注という状態で、かなり無理をしないと売上げにつながらない最悪の状況であった。

★ 今後の課題

1. 小ロット短サイクルを、如何に効率よく実践するか。
2. 市場の動向を早く見極めて、これに対応する。
3. 組合内の情報交換を活発にして、相互の仕事交流を図る。
4. 早い段階で提案形、自社ブランドの開発に意を注ぐことではないか。

## 7. 桐生糸商組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

定番品は安価な海外からの輸入物がますます増加し続けています。

国内物は機能素材、強撚、意匠撚糸等で変化をもたした商品展開がされている。

★ 状況、事業概要

秋口の異常な暑さで季節商品の売れ行き不振、輸入品の影響等で特に後半は状況が悪化しました。

★ 今後の課題

製品、原料共海外依存度が高くなる中で、国内の技術を生かした物作りが必要。

## 8. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

カーテンレースの、数量は1~6月上向き堅調推移7~12月横這い。

価格は後半に入って、厳しく下降ぎみに推移した。

高級品は横這い。一般的な価格帯の生地、特に、既製品が安値の注文が多い。

※価格破壊と言っている。

★ 状況、事業概要

秋口に入って市場が悪化、特に価格が崩れている、それに10月より、原料（ポリエステル系）が値上りし採算が更に悪くなっている。既製品に影響が大きく出ている。

現状、自家工場内機械稼働率は、日、祭日、土曜日2回と休みも多く、生産低下しており外注（土日祭稼働）でまかなっているか、家族労働経営者を含む、で生産量をカバーしている。

カーテン以外で、衣料レースの春夏ものが順調に伸びたので、前半はよかったと思われる。衣料専門企業は、天然繊維中心に前年対比変わらず横這い推移。

ショール、ストール、マフラー関係は、薄物の絹中心で前年対比やや良好、アクリルマフラーは、20%位ダウンと思われる。

雑貨その他は順調の推移と言われている。

★ 今後の課題

これからも、製品（生地）単価の少しでも値の取れるものを考えださなければならない。又、無欠点製品（生地）に、挑戦し続けている。

## 9. 桐生撚糸工業組合

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

意匠撚糸（変り撚）、強撚等織上りの風合を要求されているようです。

### ★ 状況、事業概要

繊維産業全般の不況と中国、韓国、ブラジルよりの輸入糸の増加により厳しい年であった。

### ★ 今後の課題

中国、韓国、ブラジル等輸入糸との競合は品質管理で耐えて意匠撚糸（変り撚）等の製品開発と品質向上の為の努力が不可欠。

## 10. 両毛輸出スカーフ

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

ドイツ向は、ドル高はマルクと円が共に上昇しているのに、若干は成約しそうだがドル向は皆無になってしまった。

### ★ 状況、事業概要

ドル高等の影響でアメリカ向が激減しているのに単価を引き下げを要請され、生地材質も大きく低下したので生産意欲がなくなり、減産を余儀なくされている。

## 11. 桐生織物整経協同組合

### ★ 状況、事業概要

繊維業界の低迷にて苦慮している。

### ★ 今後の課題

高齢化にて、後継者がいなく脱退者が多い。

## 12. 桐生意匠協同組合

### ★ 状況、事業概要

地元桐生の仕事量が減少している。特に輸出（洋反）の減少が目につく事業主の組合員の減少もあり各企業間の格差が表われて来ている。

従業員等、後継者がなくなって来ている。

### ★ 今後の課題

過去毎年企業が減少している事で技術者（後継者）の育成が最大の急務と考える。

テキスタイル関連の一組合ではなく業界全体で対策を考える必要がある。

## 13. 桐生市刺繍商工業協同組合

### ★ 商品、消費者ニーズの変化について

受注、販売共に急激に減少、最近の状態でも変わらず続いております。

消費者 needs は一品主義に変化、大量消費期待薄、景気の上昇傾向未だ見られない。従って工賃の低下により売上げも伸びていない。

### ★ 状況、事業概要

底入れ景気の影響を受けて減少やまず。横這い状態が今だ続いております。徐々に脱出傾向にあります。商品の1点単価も安くなっており、さらに減少傾向ですとともに消費

者の上級志向が減少した観有り。

★ 今後の課題

- ① 零細企業が多いため、情報交換、親睦場として未加入者への組合加入の増強を積極的に推進してゆく。
- ② 技術者の養成等技術研修を行う。
- ③ 展示会や宣伝活動（例えば紙上活用）等を積極的に展開する。
- ④ 青年部（後継者）の要請、指導。

14. 桐生織物買継商友会

★ 商品、消費者ニーズの変化について

経済不況、景気低迷の中、消費者の購買意欲の減退、特に趣向的要素の高い和装品は大衆向主流の桐生織物に非常な厳しさが増大している。

★ 状況、事業概要

上記に加え流通の変革、取引先が倒産、各関係業者の売上の低下、価格の混乱等に依り取引の不安定が重なり売上げは下降に推移している。

★ 今後の課題

取引の安定が第一に考えられる。

各商品別の需要減も考慮した生産調整が特に必要である。

## 桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 (協)	小 林 松	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	佐 藤 富 三	" 錦町3-1-15	45-1201
桐 生 染 色 (協)	塚 本 祐 平	" 永楽町6-6	22-9661
桐 生 織 維 製 品 (協)	関 口 幸三郎	" "	46-2310
桐 生 織 物 商 業 (協)	篠 田 久	" 元宿町3-20	46-3415
桐生織物産地元売(協)	山 崎 達 郎	" 永楽町6-6	22-9120
両毛輸出織物整染(工)	朝 倉 融	" "	22-2775
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	" 仲町3丁目15-6	44-4171
桐生刺繍商工業(協)	村 田 永 昌	" 永楽町6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 (協)	今 西 洋 右	" 巴町2丁目1,832	22-8539
東日本編レース(工)	小 堀 文 男	" 永楽町6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 (工)	田 中 堯	" 稻荷町4-29	44-9431
両毛輸出スカーフ組合	古 谷 恒	" 浜松町2丁目8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 (協)	高 久 勇 雄	" 永楽町6-6	22-9184
桐 生 意 匠 (協)	柘 植 洋 二	" 仲町3-2-13	44-6626
桐 生 紋 紙 (協)	岩 崎 万 雄	" 永楽町6-6	22-5854
東毛ジャガード刺繍(協)	西 村 千 春	" 新宿3丁目7-34	43-1166
桐生織物買継商友会	小 沢 圭 正	" 広沢町2丁目3125-53	54-0030
群馬県綿スフ織物(工)	小 林 松	" 永楽町5-1	43-2511
(協)シルク・ルネッサンス桐生	青 木 軍 次	" 広沢町4丁目2423-1	54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	" 相生町5丁目13-4	52-4125